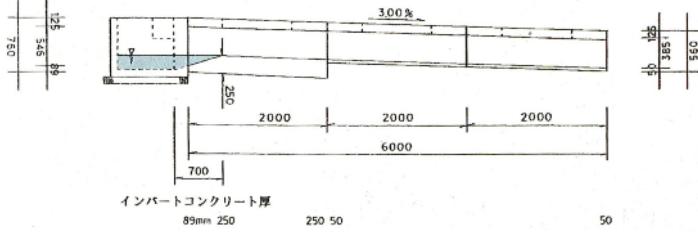


個票 20 小動物の脱出を目的としたスロープ付きの集水マスの設置

【森 2(3)①2-1】

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の移動を阻害する要素の排除・抑制			
配慮事項	野生生物の移動ルートの確保					
配慮事例	小動物の脱出・移動可能な側溝などによる脱出・移動ルートの確保					
●小動物の脱出を目的としたスロープ付きの集水マスの設置						
【解説】 林道の側溝や横断溝などに小動物が落下すると、脱出できずに、死亡してしまいます。そのため、落ちた小動物が這い上がるよう構造を工夫することが生物多様性への配慮につながります。						
【具体的な工法・配慮事項】						
●スロープ付き集水升 集水升の片側に、小動物が這い上がるようなスロープを設置します。スロープの形状は現地の状況に応じて工夫します。						
●スロープ付き横断溝 側溝と横断溝の間にスロープをつけて、小動物の横断溝内への移動を容易にします。						
内容 出典:1 【事例】						
						
【場所】 兵庫県 【環境配慮の内容と方法、工法】 <ul style="list-style-type: none"> 現場の状況に応じた様々なスロープ付き集水升が設置されている。 						
参考資料		1 「瀧川・氷ノ山林道」周辺の自然環境調査」兵庫県但馬高原林道建設事務所				